

初診診療録（まつ毛治療薬用）

2016-11

年 月 日

No. -

フリガナ		性別	年齢	生年月日	職業
お名前		男・女	才	昭和・平成 年 月 日	
現住所	〒 -	携帯		携帯番号は必ずご記入ください - -	
		自宅電話		- -	
E-mail	@	勤務先			

- 今回の使用目的・悩みはなんですか？○をつけてください。
 まつ毛を増やしたい・濃くしたい
 まつ毛の抜け毛が気になる
 その他（ ）
- 今までに下記の病気をされた事がありますか？ ○をつけて下さい。
 高血圧症 心臓疾患 高脂血症 糖尿病 胃、腸の病気 肝臓病 胃腸病 気管の病気
 肺の病気 甲状腺疾患 脳の病気 眼疾患 その他（ ）
 アトピー性皮膚炎 光線過敏症（紫外線・太陽光線） 肝炎 HIV
 アレルギー性疾患（気管支喘息・アレルギー性鼻炎・アレルギー性結膜炎・食物アレルギー）
 血液疾患（貧血・白血病・紫斑病・その他） ジンマシン ない
- 現在服用している薬はありますか？（ない ある）
 ※ある方は、薬剤名がわかれば記入してください。お薬手帳をお持ちの方は、記入不要です。
 （ ）
- 薬のアレルギーはありますか？（ない ある）※ある方は、記入してください。
 （ ）
- 女性の方は、現在妊娠の可能性はありますか？（ない ある）
- ご希望の お薬に○をお願いします。
 1.ビマトプロスト外用薬 0.03% 日本製（ ） 2.ビマトプロスト外用薬 0.03% ジェネリック（ ）

まつ毛治療薬について

本剤を使用した場合によくみられる副作用は、眼のかゆみや発赤です。両方とも約4%の報告がされています。これよりも発生率の低い副作用もあり、大抵は本剤を塗布した付近の皮膚や眼に生じています。（例皮膚の暗色化・眼刺激・眼乾燥・まぶたの発赤等）眼に何らかの症状や疾患（外傷・感染症等）が生じたり、視力が急に低下したり、眼科手術を受けたり、あるいは何らかの眼反応（結膜炎や眼瞼反応）を生じた場合は、使用を継続してよいかどうか、すぐに医師に相談してください。

過敏症	ビマトプロストまたは本剤に含まれる他の成分にアレルギーをお持ちの方は、本剤をご使用にならないでください
虹彩色素沈着	本剤を使用すると、まぶたの皮膚が黒ずむことがあります。これは回復可能なものです。また、眼の着色部分に褐色の色素沈着が進行するおそれがあり、これは元に戻らない可能性があります。
眼圧への影響	特に、既往に眼圧障害のある方は、かかりつけ医に必ずお伝えください。眼圧検査を受ける際にも、本剤を使用していることをお伝えください。

感染症	感染症等を防ぐため付属の一本のアプリケーターを両眼に使用しないで下さい。また容器の先端が他の物に触れないよう、清潔に扱うようにしてください。
コンタクトレンズ	本剤に含まれている塩化ベンザルコニウムは、ソフトコンタクトレンズに吸収される可能性がありますので、裸眼の状態で使用して下さい。またコンタクトレンズを装着する場合は、本剤塗布後 15 分経過してからご使用ください。
塗布部位以外の毛髪成長	皮膚表面で本剤に繰り返しふれる部分があると、その部分の毛髪が伸びる可能性があります。付属のアプリケーターを用いて、まつ毛基部の上眼瞼辺縁部のまつ毛の際のみに本剤を液だれしないよう塗布し、使用部位以外に本剤が付いたら、ふき取るようにしてください。
眼内炎症	活動性眼内炎症（ブドウ膜炎等）のある方は、炎症が増悪する可能性があるため、本剤の使用は慎重を期すことをおすすめします。
黄斑浮腫	高眼圧症に対するビマトプロスト点眼液の投与中に嚢胞様黄斑浮腫などの黄斑浮腫が報告されています。無水晶体・水晶体後嚢破損等の水晶体眼疾患のある方、または黄斑浮腫の危険因子があることがわかっている方には本剤の使用には慎重を期すことをおすすめします。
妊娠中の塗布	妊婦を対象としたビマトプロスト点眼液 0.03% 投与に関しては、適切かつ十分な比較対照群を設けた試験は実施されていません。動物の生殖試験からヒトの反応を常に予測できるとは限らないため、妊娠中の本剤投与は、胎児への潜在的リスクを考慮してもおすすめしません。
授乳婦	ヒト乳汁中に本剤が排泄されるかどうかは不明ですが、動物試験ではビマトプロストが乳汁中に排泄されることが明らかになっています。多くの薬剤はヒト乳汁中に排泄されるため、授乳婦に投与するときは、慎重を期すことをおすすめします。
小児	小児患者での安全性および有効性は確立されていません。
高齢者	高齢者と高齢者以外の成人との間に、全体的な臨床面で安全性や有効性の差は認められていません。

まつ毛治療薬 注意事項

- ・ 本剤は必ず付属の滅菌アプリケーターを用いて、寝る前に使用してください。
- ・ アプリケーターの再利用は重篤な感染症を引き起こす可能性がありますのでお止めください。
- ・ 本剤が眼に入っても害にはなりません。眼を洗う必要もありません。
- ・ 本剤の 1 日の使用回数を増やしても、まつげの成長は促進されません。
- ・ 下まつげのラインには使用しないでください。（色素沈着する恐れがあります）
- ・ 本剤の使用を中止すれば、まつげの成長は使用前の状態に戻ります。
- ・ 本剤を使用していると眼の虹彩が色素沈着する可能性があります。
- ・ 眼に炎症がある方は炎症が増悪する可能性があるため、使用をお控えください。
- ・ 眼圧降下剤を使用している方は必ず担当医と相談してから本剤を使用してください。
- ・ 外傷・感染症・視力の低下・眼科手術を受けた・結膜炎等が生じた場合は、すぐにお知らせください。
- ・ 本治療を受けるにあたり、医師から上記事項について十分な説明を受け、治療内容について十分理解し、これを使用させていただくようお願いいたします。

私は、医師より説明を理解し上記の内容について確認しましたので、まつ毛治療薬処方に同意いたします。

年 月 日

住所 _____

自筆サイン _____

保護者サイン _____

(治療を受ける方が未成年である場合)